



大腸内視鏡は強力なツール！～大腸癌の治療と予防～

※本コンテンツは、医師の方を対象とし、当医療機関についての理解を深めていただけるよう作成しているものであり、一般の方を対象とする宣伝・広告等を目的としたものではありません。

京都第二赤十字病院 消化器内科 副部長の河村 卓二（かわむら たくじ）と申します。

消化器内視鏡は消化管粘膜を直接視ることができる道具として、癌の早期発見に大きな貢献をしてきました。

近年では高画質・高解像度の内視鏡機器が開発され、発見された病変が良性なのか悪性なのか、悪性であった場合はどのくらいの深さまで浸潤しているのかということを診断できるようになってきました。さらに内視鏡は診断のみならず癌の治療や予防にも使うことができます。

癌の治療や予防にも貢献できることが他の画像診断法と大きく違う利点ということができるようでしょう。今回は、当院が積極的に取り組んでいる、大腸内視鏡を使用した大腸癌の治療と予防についてお話ししようと思います。



河村 卓二

消化器内科
副部長

大型の早期大腸癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）

最近の10年間で大きく変化したこととして、2cm以上の大型の早期大腸癌に対する内視鏡治療の発展が挙げられます。

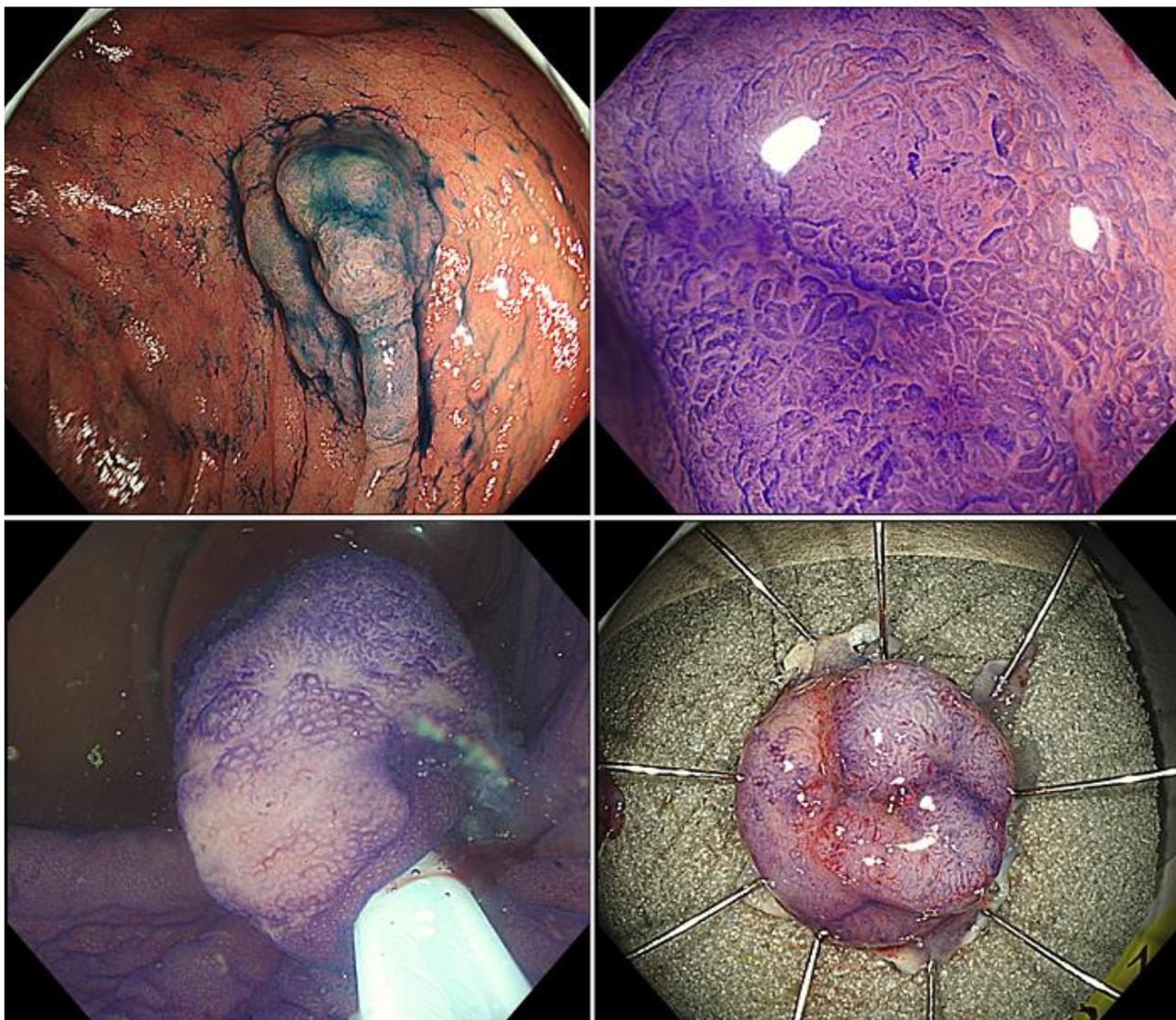
以前であれば分割切除を余儀なくされた大型の早期癌であっても、内視鏡専用のナイフを使用することで病変を一括で確実に切除できるようになってきました。

当院では4泊5日のクリニカルパスを使用して大腸ESDに積極的に取り組んでいます。



約 2cm までの早期大腸癌に対する大腸粘膜切除術（EMR）

大腸 ESD が発達した現在でも、多くの早期癌は EMR で対応可能な 2cm までの病変です。EMR は開発されて 40 年近く経過する歴史の長い手技ですが、最近でも手技の改良が続いています。当院では浸水下で行う“underwater” EMR という手技も取り入れ、より確実に癌の切除ができるよう工夫を重ねています。大腸 EMR は原則として 1 泊 2 日の入院で施行しています。



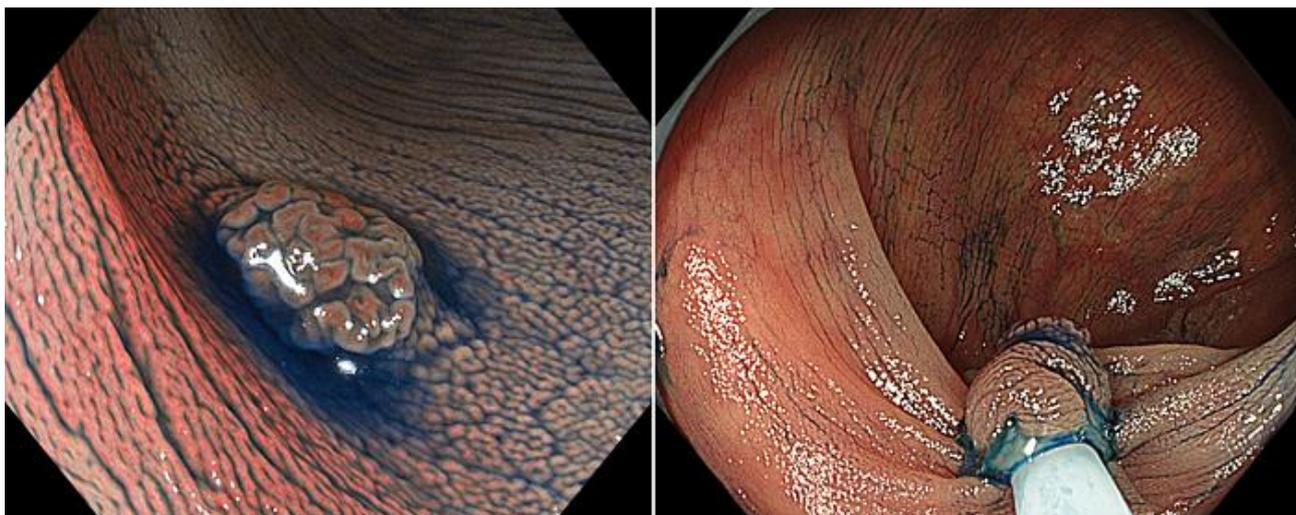
小型大腸ポリープの切除による大腸癌予防

大腸癌の多くは良性の腺腫から発生すると考えられています。

大腸内視鏡を行う際に見つかる多くの小さな腺腫性ポリープを切除することで、将来的な大腸癌のリスクを減らすことができます。

検査の際に将来的な大腸癌の予防を同時に行うことができるということが大腸内視鏡の大きな利点といえるでしょう。

安全にポリープを切除するため、当院では通電を要しない“コールドポリペクトミー”を早くから導入し、低異型度の腺腫と診断した 10mm 未満の病変については外来検査の際に同時に切除を行っています。

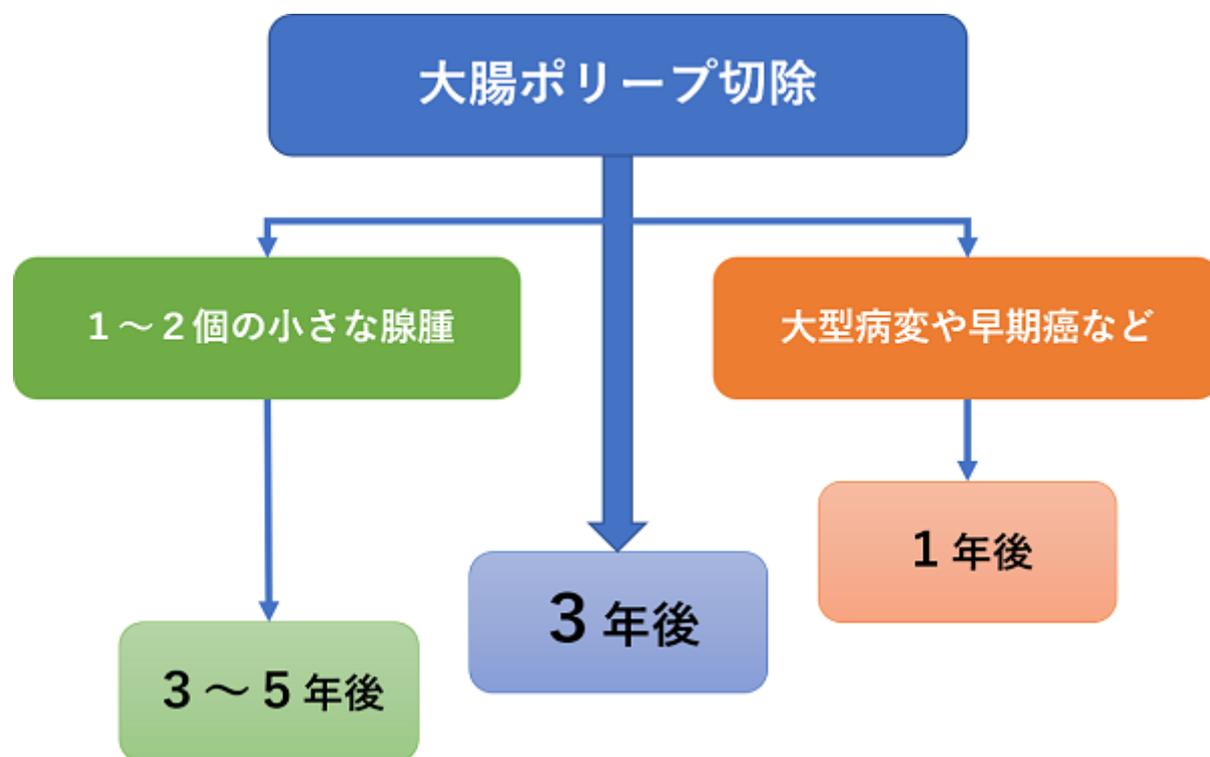


大腸ポリープ治療後の経過観察について

大腸内視鏡は大腸癌の治療や予防に使用できる強力なツールといえますが、腸管洗浄液の内服を必要とするなど、体への負担がやや大きく、ある程度の時間を必要とする検査です。

よって患者さんにとっても、私ども医療者にとっても適正な間隔での検査の施行が望まれるところです。多くの場合、大腸内視鏡検査は毎年施行する必要はありません。

私は日本消化器内視鏡学会の検査間隔に関するガイドライン作成にもかかわっており、当院では皆様の状態に応じた適正な検査間隔を推奨いたします。



先生方へのメッセージ

大腸内視鏡治療が発展した現在でも、転移リスクのある浸潤癌については外科治療が原則です。

当院では毎週外科との合同カンファレンスを行い連携して治療を進めております。

また、残念ながら根治切除が難しい遠隔転移を認めた場合は、当科に在籍するがん薬物療法専門医を中心に適切な薬物治療を行っています。

さらに進行した癌による苦痛が出現した場合は、院内の緩和ケアチームとも連携を取り適切なケアを行います。

以上のように、当院は内視鏡関連のみならず大腸癌全般の診断・治療に対応しておりますのでお気軽にご紹介ください。



河村 卓二（かわむら たくじ）

消化器内科 副部長

【専門】

消化器内科

消化器内視鏡

特に大腸

【資格】

日本消化器病学会評議員・指導医・専門医

日本消化器内視鏡学会評議員・指導医・専門医

日本大腸肛門病学会専門医

日本内科学会認定内科医・指導医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

京都府立医科大学 臨床教授

お問い合わせ先



京都第二赤十字病院 地域医療連携・入退院支援課

TEL : 075-212-6186

FAX : 075-212-6358

メールアドレス : renkeika@kyoto2.jrc.or.jp

ホームページ : <https://www.kyoto2.jrc.or.jp/>